

企画展

## 鬚嘔 ふたたび虹のかなたに

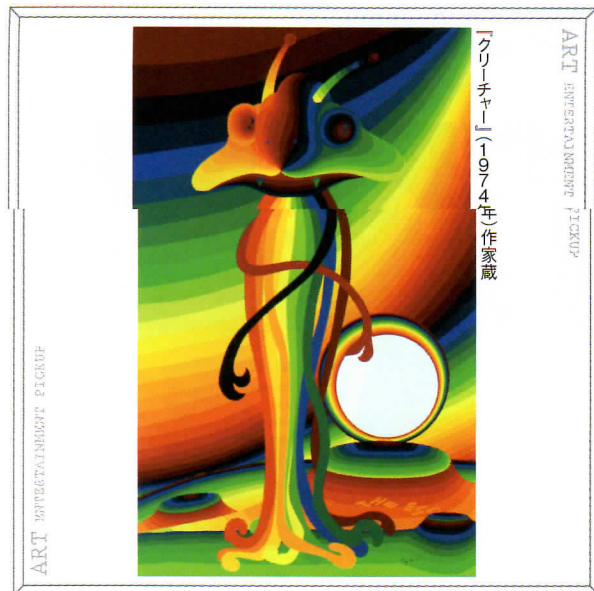
開催：7月28日(土)～10月8日(祝)

●新潟市美術館 詳細はp.168

### 「虹の画家」鬚嘔の、新潟初となる大規模な回顧展

「虹のアーティスト」として知られる日本の画家、鬚嘔(あいおう/1931年～)の回顧展。彼は、デモクラート美術家協会で活躍したあと、1958年からニューヨークに渡り、「フルクサス」の活動にも参加してきた。絵画、版画などの平面作品に留まらず、インスタレーションの作品や触ることので

きる体感型の作品などを制作し続け、なかでも、「虹」を重ね合わせて生まれる一連の作品が印象的だ。本展では、初期の油彩から渡米後のフルクサスでの活動、すべてに虹の色を重ねるシリーズの展開、観客参加型の作品、さらには新作まで、約110点の作品を紹介。鬚嘔の全貌に迫る。



「クリーチャー」(1974年)作家蔵

ART ENTERTAINMENT PICKUP

企画展

## 水の記憶

### 吉原悠博映像プロジェクト

開催：8月14日(火)～9月2日(日)

●新潟県立近代美術館 詳細は p.170

### 「水」を巨大画面の映像によって映し出す

都市のダイナミズムをそのまま作品にしたような、光と音が洪水のように鑑賞者を刺激する巨大なインスタレーション作品や、現代音楽家、ロバート・アシュリーの空間演出を手がけるなど、さまざまなアーティストとのコラボ企画なども展開する新発田市出身の美術家・吉原悠博。本展では、自ら

の家系や歴史、関係深い風土や自然などといった身近なものを主題として制作してきた映像作品のなかから、人間の生活と自然との関係を主題とした『新川史眼』(2007～2012年)と、生と死などを主題とした『さくら』(2009～2012年)を紹介。両作品に共通する「水」を、巨大画面による映像で展開する。



吉原悠博「さくら」(2009～2012年)作家蔵

ART ENTERTAINMENT PICKUP

アートイベント

## KAMEDA ROCK FESTIVAL 錦 NISHIKI展

開催：8月11日(土)～19日(日)

●gt.moo gallery 詳細は p.170

### 若手によるアートの祭典「カメフェス」開催!

新潟市内各地域で開催されている「水と土の芸術祭 2012」(P.118～125)の「市民プロジェクト」のひとつ。8月4日(土)～26日(日)に行なうアートイベント「KAMEDA ROCK FESTIVAL」のなかで、新潟ゆかりの実力派作家が作品を展示。参加作家は、瀬倉美緒、たなかるり、ワタナベメイなどの23人。



企画展

## 「越後百景十選」 秋山孝ポスター展4

開催：開催中～9月23日(日)

●秋山孝ポスター美術館長岡 詳細は p.168

### ポップな色彩で描く「越後の美」

秋山孝ポスター美術館長岡の館長であり、イラストレーター兼、グラフィックデザイナーの秋山孝。本展では、彼の故郷である「越後」を、現代のメディアのひとつであるポスターで表現した「越後百景十選」シリーズをメインに展示。江戸の浮世絵師、北斎や広重とはひと味違った、故郷の美を感じるだろう。

